

環境配慮事項とねらい

■コンセプト

□『環境への配慮 (ECO)』及び『事業継続性 (BCP)』の両立を図った eco-BCP オフィス。

□『快適・生産性の高い』快適な執務空間と様々なコミュニケーションを誘発する場を備えた豊かな発想を生み出すオフィス。

以上のコンセプトを掲げ、“環境配慮”、“事業継続性”、“活性化オフィス”を実現するための施策をふんだんに盛り込み、バランスが良く総合的で環境・安全性能の高い建築物とした。

■配慮事項

『環境への配慮 (ECO)』

- ・きめ細かな BEMS 導入によるエネルギー使用の見える化による省エネ活動・意識向上
- ・高断熱・高遮熱 (LOW-e 複層ガラス)
- ・太陽光発電装置 (140KW) による創エネルギー
- ・全館 LED 照明及び昼光センサーによる調光制御、人感センサーによる照明・換気点滅制御
- ・ODP=0、GWP の低い発泡断熱剤、F☆☆☆☆材料使用の徹底
- ・熱源の 2 重化 (電気・ガスの有利選択) によるランニングコスト低減

『事業継続性 (BCP)』

- ・高い耐震性能 (上級「Ⅱ類」保有水平耐力×1.25)
- ・建築 2 次部材 (天井下地) の耐震化
- ・停電・災害時を見据えた非常発電装置 (48H) による BCP 確保
- ・帰宅困難者受け入れ施設としての備え (スペース、電力供給、備蓄品)
- ・大規模河川氾濫に備え、重要機器の上階設置
- ・小規模氾濫への対策として、1 階床レベルの嵩上げ (GL+1.3m)
- ・十分な防災備蓄 (1,300 名 3 日分)

『快適・生産性の高いオフィス』

- ・天井高 2.9m、16m×47m 無柱・フレキシブルな空間
- ・多様なコミュニケーションを可能とする場の実現 (大規模～小規模空間、開放的～独立型空間)
- ・光あふれる中央の吹き抜け空間による部署間の交流
- ・外気に接し、明るくオープンなリフレッシュ空間 (オープンパントリー)
- ・全面床吹出空調+個別吹出空調の併用による快適かつ省エネ効果の高いタスクアンビエント空調システム。

